

平成23年度 通常総会



第18回通常総会を下記の通り開催し、会員の皆様にはご多忙中にも拘わらず多数ご出席を賜り、お蔭をもちまして、無事終了しましたことをご報告いたします。議決の結果は下記の通りです。

1. 日 時 平成23年6月24日(金) 15:00~16:30
2. 場 所 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」
3. 正会員 総数 65名
4. 出席者 63名(出席者33名+委任状30名)

第1号議案 議事録署名人の選任: 井上理事・中野理事を選任

第2号議案 平成22年度活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
満場一致で、承認。

平成22年度 活動報告

平成23年3月11日に発生した『東日本大震災』により犠牲となられた多くの方々に対し、深く哀悼の意を表すとともに、衷心よりお見舞い申し上げます。当協会では、3月の理事会において義援金(百万円)を贈る事を決定し、皆様にメールで連絡後数日経て、3月末に実施致しました。また、この大震災による影響調査を実施いたしました結果、比較的に影響は少なく安堵したところで御座います。さて、我が国経済は、一部の産業に持ち直しの動きが見られるものの、地域中小企業は急激な円高やデフレの進行により、内需が冷え込むなど、極めて厳しい経営状況に追い込まれております。本県におきましても、状況は同様で先行き不安な状況の中にあります。昨年は、NHK 大河ドラマ

『龍馬伝』の効果で観光客は増加致しましたが、公共投資が減少基調で推移し建設業、小売業等で景気回復の実感もないまま厳しい経営状況が続いています。このような状況の中、当協会に於きましては前年に引き続き研修事業を重点に実施して参りました。その結果前期同様目標の受講者数200名に対し、266名の方に受講いただきました、重ねて厚くお礼申し上げます。次に公益法人制度改革への対応について、平成25年11月末日が移行の期限となっています。それまでの移行が完了しなければ、解散をしなければなりません。当協会は一般社団法人への移行を計画し、作業のメインを石井税理士事務所さんに委託することが理事会で承認されました。現在、平成24年4月1日を移行日とするよう、石井税理士さんと協同で鋭意努力をしているところで御座いますので、皆様のご理解とご協力を今後とも宜しく御願い致します。

第3号議案 平成23年度活動方針並びに収支予算案の承認の件
満場一致で、承認。

平成23年度 活動方針

千年に一度発生するかどうかの未曾有(M9)の大震災(地震・津波・原発)が発生し今日本では復興に向け大変な試練に向かっています、特に原発の放射能問題は深刻です。特に長崎市民は原爆を経験しているだけに、遠く離れた処での出来事ですが、人ごと、とは思えない状況です。一刻も早い対策を願うばかりです。さて、このような環境の中では、一時的には経済も縮小すると思われませんが、その後は復興景気が来るものと考えます。そこで長崎県情報産業協会として、何か新規のビジネスが出来ないものか、会員皆で考える良い機会かとも思いますので、検討委員会を立ち上げ思考して見たいと思います。次に、本年度も研修事業は大きな柱として、引き続き実施してまいります。地場における就業者研修の唯一体系だった研修機関としての役割を果たし、皆様のニーズを収集し、今後の技術動向も踏まえながら、地場事業の発展に貢献する研修を推進してまいります。皆様におかれましては、経営資源の重要な柱である人材育成の場として、積極的な受講を御願い致します。また地場企業が持っている技術力・営業力を把握していただくために、『我が社の一押し』についても引き続き実施し、地場における協業の推進

を図ってまいります。お互いの信頼関係を深めるため『ビジネスコラボ会』役員会開催時に、2か月に一回開催していますので、役員以外の会員の皆様の積極的な参加を御願い致します。次に公益法人制度改革ですが、当協会も公益法人としては、今年度が最後の年になります、来年の4月1日より非営利の一般社団法人への移行に向けて、鋭意努力してまいります。今回の通常総会は、最小限決定しておかなければならない移行後の定款(案)等についても議案として上程しています。今年度はいろいろと、移行のため作業で会員の皆様にお手数をお掛けする事もあろうかと思いますが、その節はよろしくご協力の程お願い申し上げます。

第4号議案 一般社団法人への移行承認の件
満場一致で承認

第5号議案 新法人移行後の定款変更案承認の件
満場一致で承認

第6号議案 公益目的支出計画承認の件
満場一致で承認

第7号議案 理事交代承認の件
手嶋理事→山本理事へ交代
満場一致で承認

第8号議案 その他の案件 特に無

「我が社の一押し」



中濱氏

徳永氏

■株式会社 PAL 構造

中濱主務より「3次元画像を用いた牛の生産管理システムの開発」をテーマにした県内の畜産農家と長崎大学および県畜産研究部門と共同開発を行っています。牛の生育状況を複数のデジタルカメラで撮影し、3次元形状にする装置の開発や生育状況を管理するシステムについて説明をしていただきました。

■長崎情報ビジネス専門学校

徳永科長様より「新しい時代と産業界が求める優れた即戦力となる人材育成」をテーマに情報産業の企業から求められる人格の形成と最新の情報技術を授業に取り入れ、地場企業に採用していただけるように、情報産業分野に貢献できるような人材育成を展開している活動を紹介していただきました。

「講演会」



鈴木氏

東京大学生産技術研究所准教授で現在長崎県庁産業労働部政策監として出向されている鈴木様より、「クラウド化、スマートグリッド化時代における長崎エビッツの意義と地場情報産業の役割」について講演をいただきました。講演内容は、五島への100台規模のEV導入を契機に、本格的普及を図るため、次世代社会基盤そのものの変革が必要であることを明らかにし、その中で地域が主体的に活性化していく先進的モデル構築を進められている現状と展望を詳しくお話いただきました。

「交流会」



平成23年度第1回交流会を開催しましたところ、ご多忙中にも拘わらず多数ご出席を賜りありがとうございました。今回は、今春の人事異動で新任された長崎県・市の方にもご参加頂き、相互交流を通して、地域発展につながるような協業・連携による新ビジネスの発掘につながる交流会となることを期待して開催しました。

発行元：(社)長崎県情報産業協会
長崎市興善町4-6-701
電話：095-824-0332
発行責任者：会長 石橋 洋志
発行日：平成23年7月20日 第1版